



発行人：高津第二地区社会福祉協議会

会 長：富田 誠

所在地：高津区溝口 1-6-10 てくのかわさき 3 階

連絡先：TEL.044-812-5500 / FAX.044-812-3549

社会福祉協議会（社協）とは？

社会福祉協議会（社協）は、地域で誰もが幸せに安心して暮らすために、一人や一つの団体では解決できない課題などを、いろいろな人・団体が集まって話し合い協力し合って事業を行う民間の団体です。

また、地域で生活する住民が主体となって組織される地区社会福祉協議会（地区社協）は、地域の福祉課題の解決に向け、地域の住民同士がお互いに「支え合うこと」を目的としてさまざまな活動を展開している任意の団体です。

高津区内には4つの地区社協があり、構成員や活動内容は、それぞれの地区社協によって異なりますが、その多くは町内会・自治会、民生委員児童委員、保護司、社会福祉に関する団体等によって構成され、地域福祉の推進を目的にさまざまな福祉活動が行われています。

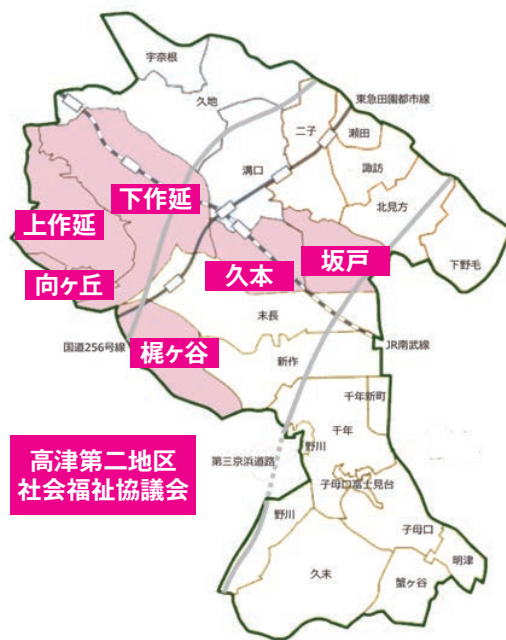
高津第二地区社会福祉協議会（地区社協）について

本誌「ふれあい」を発行している「高津第二地区社協」は、
下作延、上作延、坂戸、久本、梶ヶ谷、向ヶ丘
の6地域で構成されています。

高津第二地区社協では、「企画部」・「厚生福祉部」・「青少年福祉部」の3つの部会を中心にさまざまな活動を行っています。

▶各部会のおもな活動

企画部	本誌「ふれあい」の発行、ふれあい歌声喫茶、宿泊研修企画 他
厚生福祉部	ふれあい会食会・ミニデイの開催、介護教室 他
青少年福祉部	子育てサロン、夏休み親と子のお楽しみ会、親子いもほり体験、クリスマス会 他



高 津 第 二 地 区 社 会 福 祉 協 議 会 役 員（ 令 和 7 年 度 ）

会長	富田 誠
副会長	柳 健四郎
	竹内 敬二
	程塚 伸秀
	田村 育夫

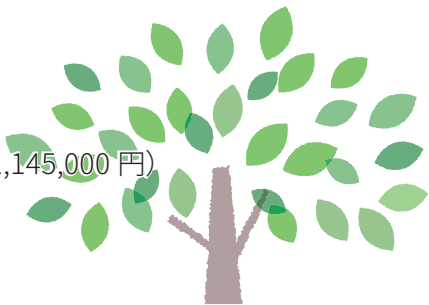
会計	岡村 テル子
監事	佐藤 巳喜男
	高橋 準三
相談役	浅田 幾美
	筒井 進

高津第二地区社会福祉協議会では、「地域での助けあい支えあい活動の活性化」を重点項目に掲げ、これまでも「地域共生社会」の実現に向けさまざまな事業を実施してまいりました。

今後も住み慣れた地域で安心して生活をするために、地域で暮らす住民が主体となって地域福祉を推進する高津第二地区社会福祉協議会の活動は、重要な役割を担うものと考えられます。

令和6年度の事業の詳細については以下のとおりです。

- 1 **協力活動**（地域での運動・事業等への協力）
- 2 **助成金事業**（区内の団体への助成金交付）
- 3 **地区住民への普及啓発**（賛助会員の増強：令和6年度569件・金額1,145,000円）
- 4 **各部会活動**（企画部・厚生福祉部・青少年福祉部）



収入の部		
科目（収入名）	金額（円）	割合（％）
1 会費	162,600	3.70
2 交付金	1,955,970	44.53
3 行事等参加費等	563,491	12.83
4 繰越金	1,710,774	38.94
総収入	4,392,835	100

地域の皆様に御協力いただきました賛助会費の7割（801,500円）が高津区社協から地域福祉活動を推進するための重要な財源として高津第二地区社協に交付されております。

支出の部		
科目（支出名）	金額（円）	割合（％）
1 会議費	148,502	5.85
2 事務費	299,739	11.81
3 事業費	1,897,192	74.74
4 負担金	50,000	1.97
5 助成金	80,000	3.15
6 交際費	10,000	0.39
7 雑支出	0	0
8 予備費	53,000	2.09
総支出	2,538,433	100

※収支差額（1,854,402円）は令和7年度へ繰越

令和7年度 高津第二地区社会福祉協議会 事業計画・予算

高津第二地区社会福祉協議会は、「人と人のつながりを広げ、顔の見える関係づくり」を展開すべく、以下の事業を実施していきます。

重点項目	■地域の助けあい、支えあい活動の活性化	■会員の増強と育成
	■地域住民への普及活動の推進	■賛助会員の拡大

収入の部		
科目（収入名）	金額（円）	割合（％）
1 会費	162,600	3.62
2 交付金	1,955,970	43.53
3 行事等参加費等	520,000	11.58
4 繰越金	1,854,402	41.27
総収入	4,492,972	100



支出の部		
科目（支出名）	金額（円）	割合（％）
1 会議費	210,000	4.67
2 事務費	360,000	8.01
3 事業費	2,005,000	44.63
4 負担金	50,000	1.11
5 助成金	80,000	1.78
6 交際費	100,000	2.23
7 雑支出	10,000	0.22
8 予備費	1,677,972	37.35
総支出	4,492,972	100

地域と学校と子どもたち



川崎市立西高津中学校 校長 野田まなみ

芳しき梅の名どころ久地の地に在る西高津中学校は、昭和 32 年（1957 年）に開校し、68 年目を迎えています。「己を守り、教育を守り、社会を守る盾」であれという意味をもたせ「西」という文字を 3 つの盾の形にデザインし、真ん中に「中」の文字を媒介に 3 つの学年が固く結ばれ、協力していく姿を表わした校章を胸に、伝統の重みと社会の変化に柔軟に対応していく力を大切に、生徒は学校生活を送っています。また、学校教育目標を実現するために、「自分自身の根である心身を鍛え、粘り強く物事に向き合い、自分を大切にし、他の人も大切にできる心の根を耕す」「自ら学ぶ意欲をもち、視野を広げ学びに向き合っていくことで自分の中の知識を豊かにする」「学校、地域での人との和を大切に、違いがあることを尊重し、考え方を深める」。このことを大切に教育活動を実践しています。

地域に根ざした学校づくりも大切にしている目標の一つです。生徒が、地域の住民として、自分の町に愛着をもてるよう、さまざまな活動を通して、体感できるようにしています。総合的な学習の時間に、1 年生では、地域の防災について、災害時には力になれるよう自助・共助・公助の意識がもてる学習をしています。2 年生では、自分の将来について考える学習の中で、地域の方の職業講話を実施し、働くことの大切さについて学習をしています。3 年生では、自分の住んでいる町のよさをより知るために、修学旅行で訪れる他の町のよさも知り、これからの生活に生かす学習をしています。

これからも、地域の一員として、自分の住んでいる町に誇りをもって活躍できる生徒とともに、地域に根ざした学校を目指していきたいと思います。



「いこいの家まつり」を開催しました

▶高津いこいの家まつり 令和 7 年 2 月 22 日（土）

「いこいの家まつり演芸大会」として、出演者を公募し、応募された中から抽選により、踊りや手話ダンス、南京玉すだれなど 10 組の団体により 4 年ぶりに 100 名を超す観客を得て盛大に催されました。最後は皆で「早春賦」の合唱で春を待ちわびる心を共有することができました。

▶上作延いこいの家まつり 令和 6 年 11 月 16 日（土）

当日、10 時から出演団体 10 団体を迎えてにぎやかに始まりました。花文字の講師によるデモンストレーションは、独特なペンを使って下書きなしで華やかな文字ができあがり、また、着物リフォーム教室は、自分の作品によるファッションショーが行われ、掛け声やら拍手やらで大いに盛りあがりました。別室ではセーターや折り紙の展示があり、そのできればどれも素晴らしいものでした。「上作延の歌」を全員で歌い、例年とは少し異なる出しものもあり最後まで楽しんでいただけたようでした。

▶梶ヶ谷いこいの家まつり 令和 6 年 10 月 19 日（土）

5 年ぶりに開催された「いこいの家がやがやまつり」では、書道や編み物などの作品展や演芸大会として、コーラス・体操・カラオケ・ピアノ演奏など多才な方々で賑わいました。そして一番の盛りあがりを見せたのは最後のビンゴ大会でした。なかなかビンゴにはならなかった方もいましたが、無事に全員が景品を受け取ることができ、満足げに帰られました。





民生委員児童委員として活動してみませんか？

令和7年12月1日に、民生委員児童委員の一斉改選が行われます。民生委員は民生委員法に基づき3年を任期とする非常勤の地方公務員（ボランティアとして活動するため無報酬）

で、各町内会・自治会の中から選ばれます。社会福祉の増進のため地域住民の立場から、生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行い、支援を必要とする住民と行政・専門機関をつなぐパイプ役を担っています。

現在、全国的になり手不足から欠員を生じている町内会・自治会が少なくありません。当地区社協管内でも例外ではなく、地域の皆様が誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、心ある人よ、社会貢献、ボランティア心をぜひ発揮し、民生委員児童委員として活動に参加してください。

主 な 行 事 ・ 事 業 予 定

5月	高津第二地区社協総会	12月	「ふれあい」67号発行
6月	老人クラブとの交流 家庭での介護教室		クリスマスお楽しみ会
7月	「ふれあい」66号発行 夏休み親と子のお楽しみ会 高津区民祭	3月	会食会合同反省会
9月	高津区福祉敬老大会	【定期開催行事】	
10月	宿泊視察研修会（山梨県笛吹市） 親子いもほり体験	※	ふれあい会食会 （高津・上作延・梶ヶ谷会場）各会場とも年6回
		※	上作延ミニデイ・年12回（第3木曜日）
		※	ふれあい歌声喫茶・年4回
		※	いこいの家まつり （高津・上作延・梶ヶ谷会場）

お気軽に
ご相談ください！

地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー は

介護、福祉、健康、医療などさまざまな相談の窓口です

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------------|
| ●溝口地域包括支援センター | (044-820-1133) | 住所：高津区溝口 1-6-10 3階 |
| ●樹の丘地域包括支援センター | (044-820-8401) | 住所：高津区久地 4-19-8 |
| ●リ・ケア地域包括支援センター | (044-865-6238) | 住所：高津区向ヶ丘 130-9 |

地域を支える「賛助会員」として地域福祉活動に参加いただけませんか？

社会福祉協議会の活動に賛同し、皆様からご支援いただく賛助会費は、地域福祉活動の推進のための貴重な財源として活用させていただきます。

賛助会費は本誌2面の事業報告に記載されている活動に使われています。

【お問い合わせ】

高津区社会福祉協議会 TEL：044-812-5500

賛助会員

1口 1000円から

編 集 後 記

今年は、社協の役員改選及び12月1日には民生委員児童委員の一斉改選の年にあたります。この「ふれあい」の編集の主力メンバーは、民生委員児童委員と町内会・自治会長で構成する企画部員です。皆さんさまざまな本来の職業や外部機関の役職等を兼任され、二刀流、三刀流どころか五刀流という方までいる中で年2回発行に努めています。孤立・孤独・孤食といった言葉が、現代における高齢者や子育て環境に当たり前のように使われている今日、人との交わりを広げる社協が取り組んでいる活動と地域との橋渡しになればと思い、今後も誌面の編集を進めていきます（企画部 金子）。